

令和 7 年度

秋田自動車道  
北上西～湯田間水文調査

特 記 仕 様 書

令和 7 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社  
東北支社横手工事事務所

## 第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	テクリスへの登録	1
1-4	履行期間	1
1-5	資料の貸与	2
1-6	受注者相互の協力	2
1-7	計画工程表	2
1-8	調査等打合簿の作成及び提出について	3
1-9	成果品	3
1-10	保安に関する事項	4
1-11	環境保全に関する事項	4
1-12	ウィークリースタンスの取組み	4

## 第2章 業務細部に関する事項

2-1	業務の概要	6
2-2	水文調査	6
2-3	交通費・宿泊費	7
2-4	調査計画	7
2-5	打合せ	7
2-6	技術業務 交通費・宿泊費	8

## 第3章 補足事項

3-1	遠隔立会	9
3-2	現地立ち入りについて	9
3-3	補償費について	9
3-4	設計図書の変更及び追加が予想される内容	9

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 令和7年度 秋田自動車道 北上西～湯田間水文調査

1-1-2 道路名 秋田自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 岩手県北上市和賀町山口 (S T A. 0 + 6 9)  
至) 岩手県和賀郡西和賀町小繋沢 (S T A. 2 0 2 + 7 0)

### 1-1-4 主な履行内容

流量調査A	8箇所・回
流量調査B	24箇所・回
水質分析試験試料採取	114箇所・回
水質分析試験	1,368試料
実施調査計画A	4.42km
打合せ	1式

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下、「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。  
なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内(業務完了期限までの間)で、受注者が業務の始期(業務着手日)及び終期(業務完了日)を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日か

ら受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から１０日以内に、履行期間通知書（様式―１）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から８４０日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から６０日間（まで）

#### １－５ 資料の貸与

共通仕様書１－１５－１及び３－２－２「資料の貸与」に基づく貸与資料は、次表のとおりとする。なお、なお、履行期間中の調査等業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
完成図（Ⅰ期線）	—	契約締結の翌日より７日以内	紙または電子データ
水文調査報告書	秋田自動車道 北上西～錦秋湖間水文調査	令和８年４月５日以降	紙または電子データ

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、１２月２９日から翌年１月３日まで、夏期休暇（３日）を除く。

#### １－６ 受注者相互の協力

共通仕様書１－２０「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	備考
秋田自動車道 峠山工事用道路工事	令和７年５月３１日～ 令和８年８月２３日	株式会社小田島組	設計資料の 共有・調整
秋田自動車道 天ヶ瀬地区工事用仮橋設置工事	未定	未定	設計資料の 共有・調整
秋田自動車道 トンネル工事	未定	未定	設計資料の 共有・調整
秋田自動車道 北上西～錦秋湖間水文調査	令和６年９月１３日～ 令和８年４月５日	日本工営株式会社	設計資料の 共有・調整

#### １－７ 計画工程表

##### １－７－１ 計画工程表の記載事項

共通仕様書１－１４－１「作業計画書の提出」（２）に示す作業計画書中の計画工程表（様式―２）の作成にあたっては、次の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書１－５「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、及び共通仕様書１－２２「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

項目	頻度	調査時期
流量調査 A	4 回／年	令和 8 年 5 月 令和 8 年 7 月 令和 8 年 9 月 令和 8 年 1 1 月 令和 9 年 5 月 令和 9 年 7 月 令和 9 年 9 月 令和 9 年 1 1 月
流量調査 B	4 回／年	令和 8 年 5 月 令和 8 年 7 月 令和 8 年 9 月 令和 8 年 1 1 月 令和 9 年 5 月 令和 9 年 7 月 令和 9 年 9 月 令和 9 年 1 1 月
水質分析試験試料採取	2 回／年	令和 8 年 7 月 令和 8 年 1 1 月 令和 9 年 7 月 令和 9 年 1 1 月
	1 回／年	令和 8 年 1 1 月 令和 9 年 1 1 月
実施調査計画 A	1 式	冬季期間明け

#### 1－7－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1－2 2 に示す「打合せ」の実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告するとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果業務内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

#### 1－8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1－9 成果品

共通仕様書 1－4 6－1「成果品」よらず下記の通りとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね 3 0 日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督院の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など（当該調査等以降に実施される業務）に配慮すべき事項につ

いて整理し、とりまとめるものとする。

なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

## 1-10 保安に関する事項

### 1-10-1 調査等車両の運行

現道を走行する調査等車両は、交通関係法（道路交通法、道路運送車両法、道路法）を遵守するものとする。

### 1-10-2 調査等車両の区別

受注者は調査に使用する車両と一般車両の区別をするため、以下に示す調査用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。

#### 調査用車両標示板参考図

令和7年度 秋田自動車道  
北上西～湯田間水文調査  
調査用車両  
受注者名（□□）

材質：耐水合板、強化プラスチック、

布製又はラミネート加工した印刷物等

色彩：黄色地に黒文字

寸法：前部標示板

乗用車等：A4サイズ

トラック、ダンプ等：A4サイズ

後部標示板

トラック、ダンプ等：30cm×90cm

その他の全車両：A4サイズ

字体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、  
他の文字より大きめにする）

□□：受注者車両の通し番号

## 1-11 環境保全に関する事項

### 1-11-1 砂塵等の防止

受注者は、調査用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

### 1-11-2 騒音等に関する配慮

受注者は、調査等業務に伴う調査用機械及び車両の騒音対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて施工を行わなければならない。

### 1-11-3 環境保全に関する費用

本特記仕様書1-11「環境保全に関する事項」の費用については諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

## 1-12 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境

等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の概要

本業務は、秋田自動車道4車線化における北上西IC～湯田ICの工事に必要な、水文調査等を実施するものである。

### 2-2 水文調査

#### 2-2-1 流量調査A

流量調査Aとは、対象地域の河川及び沢・水路の流量を定期的に測定する調査である。

なお、測定方法は「容器法」にて実施するものとし、これに関する材料・測定等の費用については流量調査Aに含まれるものとする。

調査時期については、次のとおりである。

頻度	調査時期
4回／年	令和8年 5月
	令和8年 7月
	令和8年 9月
	令和8年11月
	令和9年 5月
	令和9年 7月
	令和9年 9月
	令和9年11月

#### 2-2-2 流量調査B

流量調査Bとは、対象地域の河川及び沢の流量を定期的に測定する調査である。

なお、測定方法は「断面流速法」にて実施するものとし、これに関する材料・測定等の費用については流量調査Bに含まれるものとする。

調査時期については、次のとおりである。

頻度	調査時期
4回／年	令和8年 5月
	令和8年 7月
	令和8年 9月
	令和8年11月
	令和9年 5月
	令和9年 7月
	令和9年 9月
	令和9年11月

#### 2-2-3 水質分析試験

##### (1) 試料採取

試料採取とは水質分析試験に用いる試料を各調査箇所より採取することをいう。

試料採取の検測数量は1箇所・回とし、試料採取に要する全ての費用を含むものとする。

##### (2) 水質分析試験

水質分析試験とは採取した試料について、共通仕様書3-11-3「水質分析試験」に従い行う試験をいう。

水質分析試験項目については次のとおりとし、試験は公正を確保するために受注者を通じて公的機関で試験を行うものとする。



また、試験の実施については、現地水源の利水状況等を調査し、別途監督員と打合せのうえ行うものとする。

項目	頻度	調査時期
カドミウム 鉛 六価クロム ヒ素 フッ素 シアンイオン	2回／年	令和8年 7月 令和8年11月 令和9年 7月 令和9年11月
水銀 セレン ホウ素 水素イオン濃度 濁度 浮遊物質	1回／年	令和8年11月 令和9年11月

### 2-3 交通費・宿泊費

交通費・宿泊費には、水文調査に必要な交通費・宿泊費を含むものとし、設計項目箇所が増減した場合は、交通費・宿泊費の費用も変更を行うものとする。

### 2-4 調査計画

共通仕様書3-4-2「調査計画」に示す調査区分及び調査範囲は次のとおりとする。

内訳書の項目	調査区分	適用箇所
実施調査計画A	水文調査	STA. 0+69～STA. 12+40 STA. 46+00～STA. 49+50 STA. 86+00～STA. 87+50 STA. 90+00～STA. 104+00 STA. 116+00～STA. 119+00 (ブレーキ区間 STA. 116+13～STA. 116+20 - 7m) STA. 138+30～STA. 142+50 STA. 177+00～STA. 178+70 STA. 198+00～STA. 202+70 総延長 4.42km

なお、実施調査計画Aには実施調査計画に必要な現地踏査の費用を含むものとする。

### 2-5 打合せ

本業務における打合せの回数は業務内容確認検査及び完了検査を含め、5回とする。打合せの検測数量は1式とし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱い監督員と受注者で協議の上決定するものとする。また、当初打合せ時には合同現場踏査を実施するものとし、この費用については別途計上しないものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横手工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

なお、完了検査はWEB方式により行うものとする。ただし、WEB方式による実施が困難な場合は、対面方式による実施について別途監督員と協議するものとする。

## 2－6 技術業務 交通費・宿泊費

技術業務 交通費・宿泊費には、技術業務に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合の交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

完了検査は WEB 方式にて行うため交通費・宿泊費の費用は計上しないものとする。なお、協議により完了検査が WEB 方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

### 第3章 補足事項

#### 3-1 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和5年10月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通仕様書1-23「立会い及び検査」に定める立会い及び検査について、デジタル通信技術を活用し遠隔地からの確認、検査及び立会いの実施により、受注者及び発注者の調査等管理業務の効率化による生産性向上を図るものである。

遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるものとする。

#### 3-2 現地立ち入りについて

現地立入の際は、事前に監督員と十分な打合せを行わなければならない。なお、高速道路敷の立木等の伐採はできる限り行わないよう配慮し、伐採が必要な場合は、事前に監督員と協議し、その指示に従うものとする。

#### 3-3 補償費について

調査実施に伴う踏荒し補償費、立木伐採補償費及びこれらに伴う立会謝金を土地所有者に支払う事態が発生した場合の取扱いについては監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

#### 3-4 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、現地状況等により変更または追加する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- （1）関係機関との協議の結果に基づき、業務内容の変更及び追加
- （2）地元設計協議の結果に基づく業務内容の変更及び追加
- （3）現地状況確認結果による測定方法の変更及び追加

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 令和7年度 秋田自動車道 北上西～湯田間水文調査業務

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

